

# 姫天だより

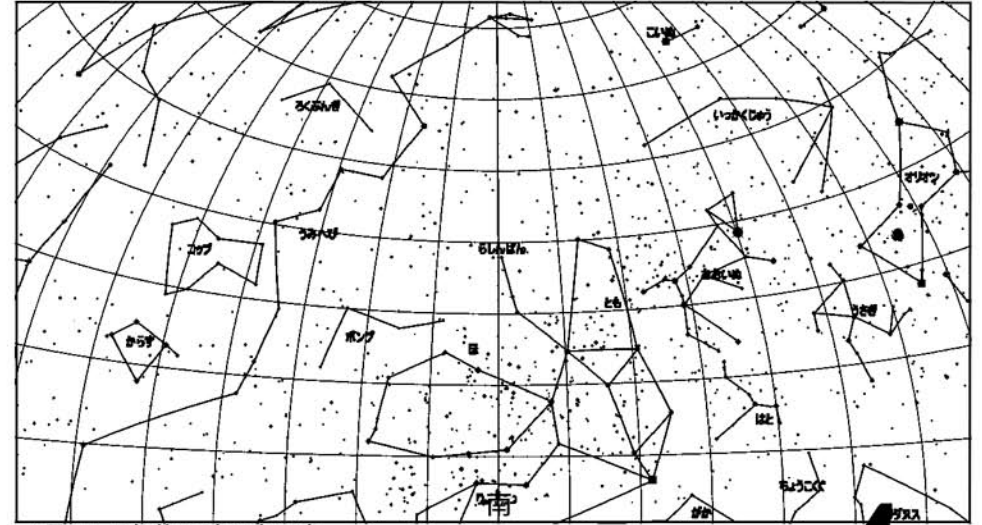
4月号  
2020

## ★今月のテーマ月と金星を観る会

観望会を予定している4日の土曜日の月の月例は10.7と半月と満月の間の姿を見ることが出来ます。欠け際のクレーターは立体的でこぼこした様子を観察してもらえるとと思います。また4月上旬は宵の明星金星が、すばるの中を通り美しい姿を見せてくれます。観望会を予定している4日には、すばるの羽子板の柄の部分に金星が輝いている姿を観察してもらえるとと思います。

また4月28日には、金星がマイナス4.5等星と最大光度となり、昼間の太陽の東側どのあたりに輝いているのかおおよその位置が分かれば、昼間の青空の中に輝く金星の姿を肉眼で見つける事も出来ます。もしその輝きを見つことが出来るなら、昼間に光の国を見つけられるウルトラマンのように、あなたも金星人かもしれません。な～んてね。

新型コロナウイルス感染症が収まって早く観望会が開けるようになるといいですね。



4月15日午後8時の南の空

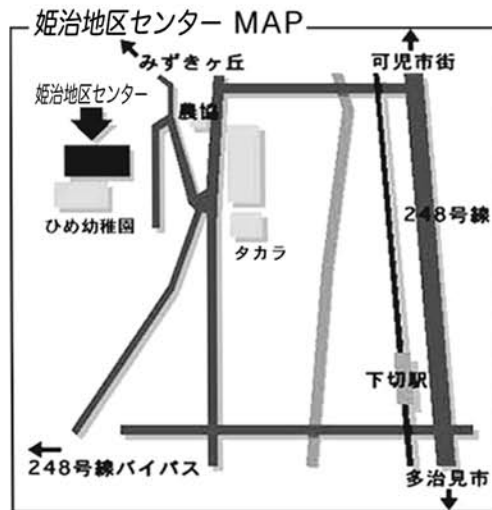
## -次回の天文クラブ-

### ●4月の星を見る会

4月の例会はコロナウィルス対策により中止になりました。

### ●5月の星を見る会

5月の例会はコロナウィルス対策により中止になりました。



JR太多線下切駅より徒歩13分

2020年4月1日発行

姫治地区センター  
岐阜県可児市下切 1530  
☎0574-62-0104  
姫治天文台  
<http://himeziten.yu-yake.com/>

※観望会についてのお問い合わせは  
姫治地区センター (62-0104) まで

## ★今月の星座 ポンプ座

可児市から見える星座の中で一度も紹介していない星座が、今回取り上げる“ポンプ座”です。4月中旬夜8時ごろに南中するこの星座は、一番長い海へび座のおなかの下、南の低い空に輝いているのですが、明るい星が一つもなく、一番明るいアルファ星でも4.4等星と非常に暗いうえ、名古屋や小牧、春日井の町明かりで探せないのも、これまで紹介してこなかったのですが、人知れずひそかに輝いているマイナー星座が好きな私としては一度は紹介したいと思い取り上げました。

ポンプという星座名が示すように新しい星座で、フランスの天文学者ニコラ・ルイ・ド・ラカイユが1750年から1754年にかけて南アフリカのケープタウンに出掛けた時に新設した星座の一つです。

ですから、神話や物語りはなく、星座だけでなく見どころも少なくNGC 2997, 3223, 3250, 3347の銀河はありますが口径10センチの望遠鏡で覗いてもかすかに存在が分かる程度です。強いてあげれば口径5センチ程度の双眼鏡で見える二重星 星でしょうか。そんなに目立たなくても夜空を88に分けた星座の一つですから、場所は分かり易いのでウミヘビのおなかの下南の空低いところここにいるよと輝いているかすかな光にも目を向けて欲しいと願うのは、私の感傷でしょうか？